

【初秋 西神戸・東播磨の郷の風物詩 Photo】
初秋の里の絶景を訪ねて原チャリで駆ける 2022.

- 1.東播磨 酒米山田鶴の郷 秋迎への風物詩
稔りの畔に翻る酒蔵の旗 三木市廻川・加東市木梨
- 2.岩に阻まれた激流が水しぶきをあげて流れる闘竜灘
加古川の中流 川床に奇岩・怪岩が連続 加東市滝野
- 3.旧日本海軍の練習航空隊の飛行場跡 加西市鵜野(うずらの)
世界大戦の歴史をそっくり残す鵜野飛行場滑走路跡と戦争遺跡
- 4.小野市きすみ野 蕎麦畑一面を真っ白にする蕎麦の花
小野市小野町 来住野 小



高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました

我が家の庭で 2022.9.10.夜



高取山の上に昇った中秋の名月

我が家の庭で 2022.9.10.夜



我が家の南 須磨沿岸に並ぶ西六甲端の山々 その上にまん丸お月様が登りました
お月様の左の星は木星か？

高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました

我が家の庭で 2022.9.10.夜

我が家の南 須磨沿岸に並ぶ西六甲 高取山から横尾山へ続く山々
その上にまん丸お月様が昇りました

高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました

我が家の庭で 2022.9.10.夜



我が家の南 須磨沿岸に並ぶ西六甲 高取山から横尾山へ続く山々
その上にまん丸お月様が昇りました

高取山の上に昇った中秋の名月
月下美人の花も咲きました

我が家の庭で 2022.9.10.夜



我が家の南 須磨沿岸に並ぶ西六甲 高取山から横尾山へ続く山々
その上にまん丸お月様が昇りました

夏から初秋へ
2022.9.21. 我が家の庭で



7月下旬 「今 蒔いたら秋には咲くよ」と
佐用のひまわり畑でもらった種
半信半疑でしたが、こんなにきれいに
咲きました 2022.9.18.

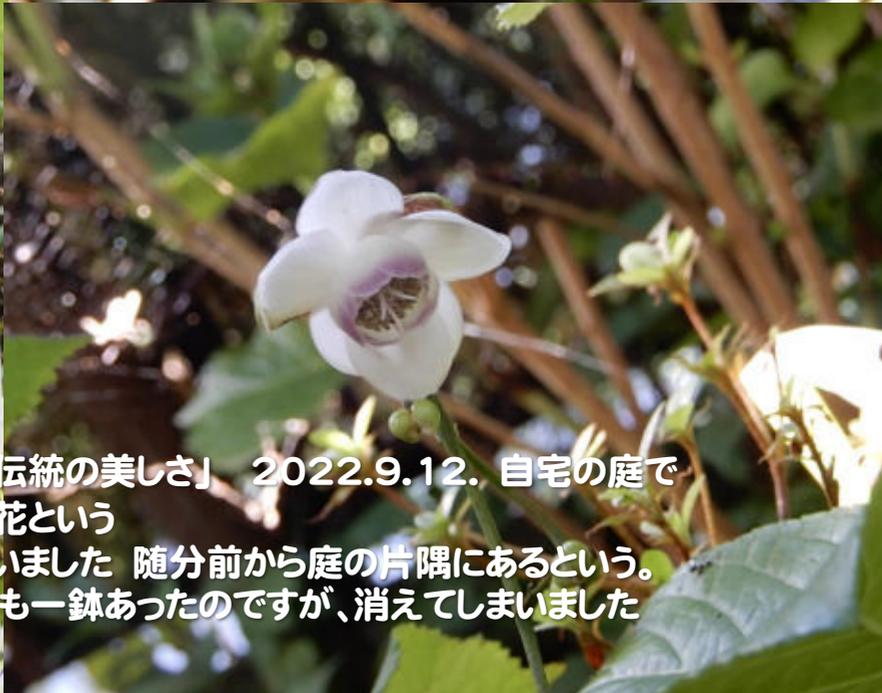
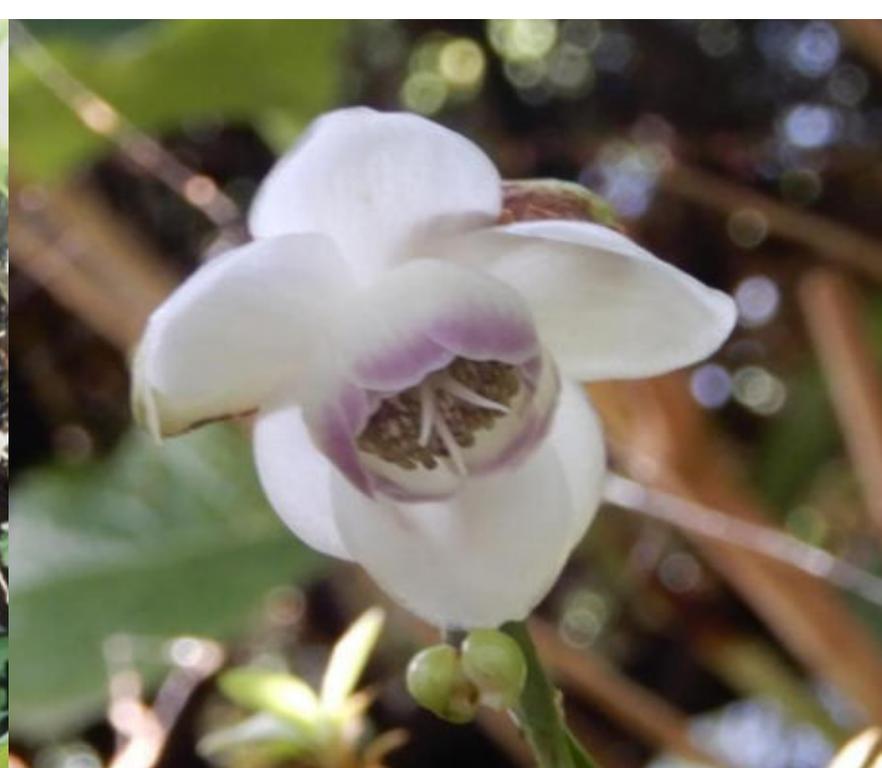
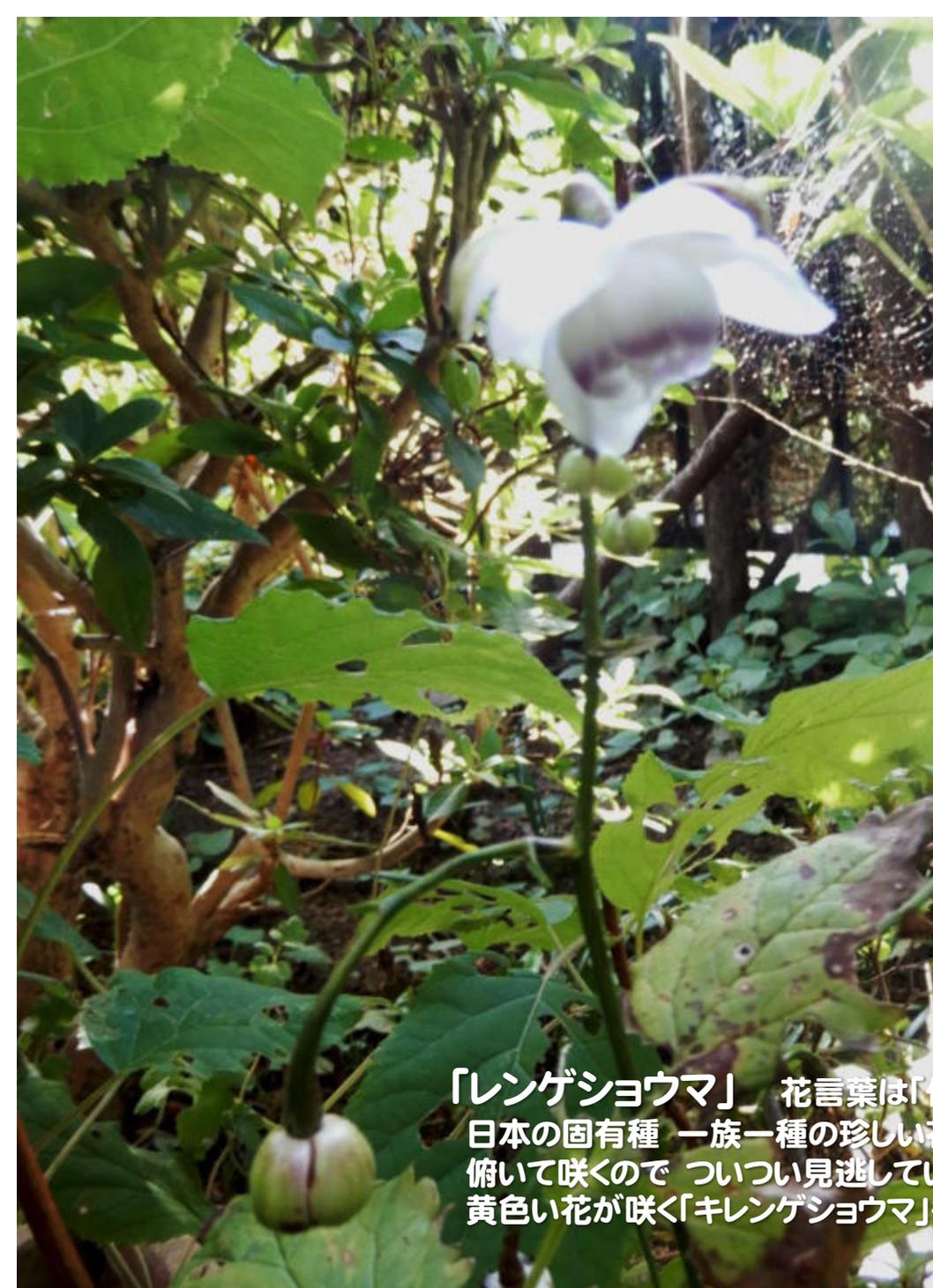


ひまわりの夏 古代たたらの里のひまわり畑
西播磨 佐用 旧南光 漆野の里 2022.7.21

庭に一鉢だけ残っていた「レンゲショウマ」 2022.9.12. 自宅の庭で
花言葉は「伝統の美しさ」 日本の固有種 一族一種の珍しい花という



東北地方 深山のやや湿った林床に多く見られるというが、
関西では見かけぬ花 俯いて咲く花 下から見上げて撮りました
家にこんな山野草があったのか・・・と



「レンゲショウマ」 花言葉は「伝統の美しさ」 2022.9.12. 自宅の庭で
日本の固有種 一族一種の珍しい花という
俯いて咲くので ついつい見逃していました 随分前から庭の片隅にあるという。
黄色い花が咲く「キレンゲショウマ」も一鉢あったのですが、消えてしまいました



秋の七草「葛・クズ」の花

花言葉は「根気」「活力」、「洛癒」

葛の根は乾燥をさせて漢方薬に。風邪薬「葛根湯」成分です



秋の七草「くずの花」 今まであまり気が付かなかった花 車の田園地で 2022.9.21.



いつもながら お彼岸と共に 近くの田園や街角で一機にヒガンバナも咲きだしました
須磨 若草の丘近隣で2022.9.23.





青田から稔りの秋へ 西神戸の田園地帯 伊川谷小寺の里で 2022.9.12.



青田から稔りの秋へ 西神戸の田園地帯 伊川谷小寺の里 2022.9.12.

東播磨初秋の風物詩 酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗 2022.9.12.

毎年 私の夏送り 東播磨 稔りの秋の田園地帯を原チャリで駆ける



酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨) & 三木市(吉川・細川)

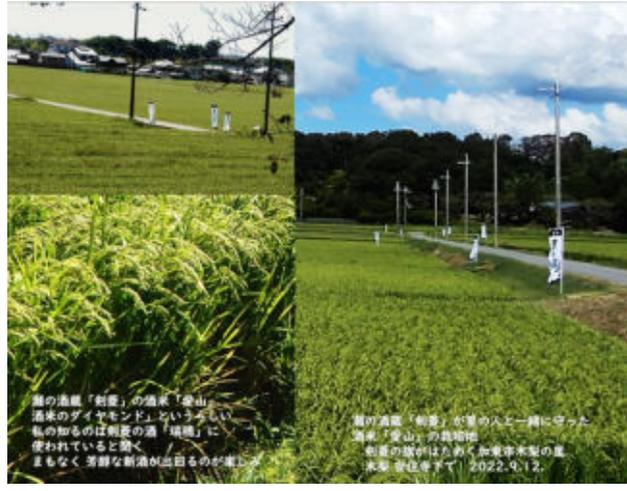
- 1.東播磨 酒米山田錦の郷 秋迎えの風物詩
稔りの畔に翻る酒蔵の旗 三木市細川・加東市木梨
- 2.岩に阻まれた激流が水しぶきをあげて流れる鬮竜灘
加古川の中流 川床に奇岩・怪岩が連続 加東市滝野
- 3.旧日本海軍の練習航空隊の飛行場跡 加西市鷓野(うずらの)
世界大戦の歴史をそっくり残す鷓野飛行場滑走路跡と戦争遺跡
- 4.小野市きすみ野 蕎麦畑一面を真っ白にする蕎麦の花
小野市小野町 来住野

★白川峠
若草の丘

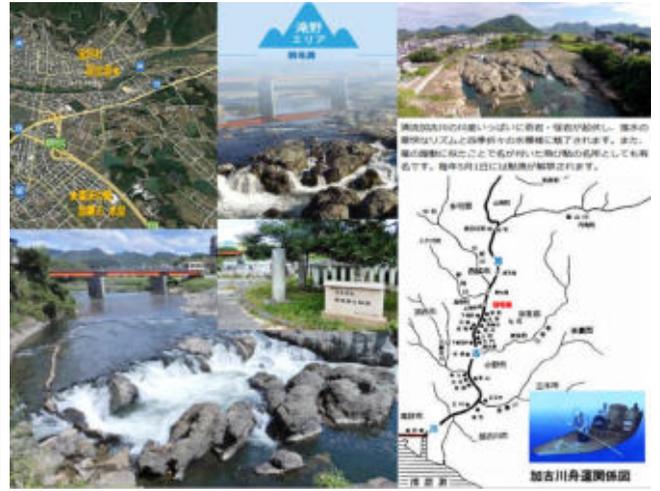
東播磨 初秋の風物詩



2022.9.12. 三木市福川町養稚の里で
 蕨の酒蔵の旗が群をかざる初秋の風物詩。
 伊用谷からまよまよと歩いた陸地の丘の麓を辿り、小さな丘がいくつも広がる山田餅市「三木市
 養稚郷」加古川の西岸に広がる田園地帯は、兵庫県特産の酒米山田餅の主要栽培地。
 甘茶畑の田舎が隠れて契約する山田餅の栽培地が広がり、
 毎年特製の秋を迎えと神戸産の酒蔵を始め、
 日本各地の酒蔵の旗が群を誇る山田餅の里がまたひとつなる
 今年の新酒の出来をう酒米の出来。
 順調な生育、旗を垂れる稲穂に期待が広がる山田餅の里の夏通り



蕨の酒蔵「初鹿」の酒米「愛山」
 酒米のダイナマンド、ないランド、
 私の知るはれはるの酒「精進」に
 使われていると聞く、
 まもなく芳醇な新酒が出来るとの約束
 蕨の酒蔵「初鹿」が里の入り口に立つ
 酒米「愛山」の栽培地
 初鹿の旗がはたらく加東市木梨の里
 木梨 敬啓 2022.9.12.



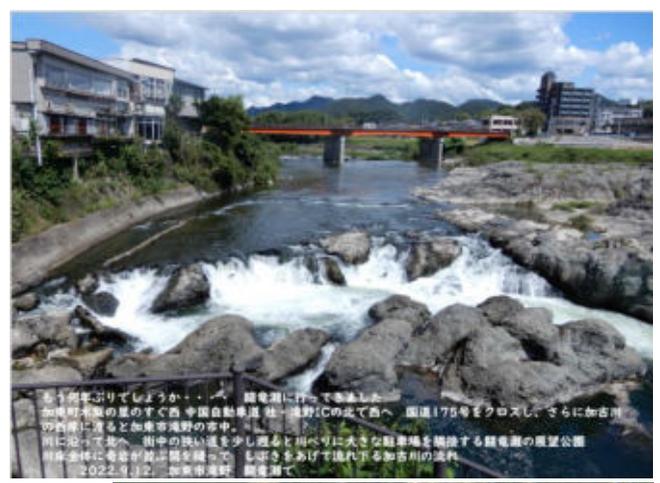
加古川川運開係図
 加古川川運開係図
 加古川川運開係図
 加古川川運開係図



3年ぶりにみる木梨の里の初秋の風物詩
 田園の群のあちこちに酒蔵の旗が翻る加東市木梨の里景色
 2022.9.12. 加東市木梨 安住寺下の田園で



2022.9.12. 三木市福川町養稚の里で



3年ぶりでしょうか... 加東市木梨の里のすぐ西、中国自動車道 社一連野ICの北で西へ、国道177号をクロスし、さらに加古川
 の西岸に流ると加東市福野の市中。
 川に沿って北へ、街中の狭い道を少し進ると頂上には大きな駐車場を擁する龍電園の風景公園
 川岸全体に電柱が並び目を障って、もどきもあけて流れ下る加古川の清流
 2022.9.12. 加東市福野 龍電園で



加古川川運開係図の土手下の心野平農事地区、2022.9.12.
 旗を高く掲げる米蔵の風景
 加古川の土手下の農家にも、一人一葉しーすばぬ
 小瀬下川の上流を管に広がる
 農産物の収穫、2022.9.12.



Sora.だすい
 加東市木梨の里の風景
 加東市木梨の里の風景



加古川川運開係図
 加古川川運開係図
 加古川川運開係図
 加古川川運開係図

東播磨 初秋の風物詩 田園地帯の里景色 本本当にうれしい風来坊 初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。

滝野町

闘龍灘★

★加東市
木梨

佐保神社★

酒米「山田錦」の郷

加東市(木梨) & 三木市(吉川・細川)

★鷯野飛行場
滑走路跡地

小野町★
来住野のそば畑

★三木市
細川町

★志染

★西盛

★神出

★樫谷

西神中央

3★白川峠
若草の丘

東播磨の初秋の風物詩 稔りの田の畔を飾る酒蔵の旗

酒米「山田錦」の郷

三木市(吉川・細川) & 加東市(木梨)へ

Image Landsat / Copernicus

Google Earth

山陽新幹線

駆け巡った東播磨路線図 主に国道・県道図

滝野町

閻龍灘★

★加東市
木梨

酒米「山田錦」の郷

加東市(木梨)
&三木市(吉川・細川)

佐保神社★

★鷓野飛行場
滑走路跡地

小野町★
来住野のそば畑

上荘橋★

★三木市
細川町

★志染

★西盛

★神出

★櫛谷

西神中央

3★白川峠
若草の丘

伊川谷

学園都市

総合運動公園



西神戸から東播磨北部に広がる丘陵地
里山の間を縫って 点々と里が続く田園地帯
狭い谷間の田園は兵庫県特産の酒米「山田錦」の郷
初秋 田園には誇らしく日本各地の酒蔵の旗が立ち並ぶ
東播磨初秋の風物詩を巡って東播磨の里を駆ける

Google Earth

東播磨初秋の風物詩 酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗 2022.9.12.
毎年私の夏送り 東播磨稔りの秋の田園地帯を原チャリで駆ける
 世界大戦の歴史をそっくり残す加西市の鶉野飛行場滑走路跡地を初めて見学しました



鶉野飛行場
滑走路跡地★

★加西
フラワー
セクター

滝野町閻龍灘★

★加東市
木梨 & 社 佐保神社

酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨) & 三木市(吉川・細川町)

網引湿原★

加古川市
志方★

★小野町★
来住野のそば畑

上荘橋★

★三木市
細川町

★志染
三木市

★淡河

- 1.東播磨 酒米山田錦の郷 秋迎への風物詩
稔りの畔に翻る酒蔵の旗 三木市細川・加東市木梨
- 2.岩に阻まれた激流が水しぶきをあげて流れる閻龍灘
加古川の中流 川床に奇岩・怪岩が連続 加東市滝野
- 3.旧日本海軍の練習航空隊の飛行場跡 加西市鶉野(うずらの)
世界大戦の歴史をそっくり残す鶉野飛行場滑走路跡と戦争遺跡
- 4.小野市きすみ野 蕎麦畑一面を真っ白にする蕎麦の花
小野市小野町 来住野

★神出

西神中央★

★箕谷

伊川谷★

★若草の丘

神戸市

滝野町

闘龍灘★

佐保神社★

★加東市
木梨

酒米「山田錦」の郷

加東市(木梨)
&三木市(吉川・細川)

★鷓野飛行場
滑走路跡地

加世川
小野市

小野町★
来住野の
そば畑

★三木市
細川町

上荘橋★

★志染

★西盛

★神出

稲美町

西神中央

★白川峠
若草の丘

伊川谷

学園都市

総合運動公園

加東市木梨の里

bernicus

Google Earth



2022.9.12 三木市細川町委種の里で



三木市細川 垂穂の里



東三見

西明石

山陽新幹線

東播磨の里 秋の風物詩 稔りの田の畔に翻る酒蔵の旗 東播磨 三木市&加東市 酒米「山田錦」の郷の秋迎え

2022.9.12. 三木市細川町垂穂の里で
灘の酒蔵の旗が畔をかざる初秋の風物詩

伊川谷からまっすぐ北へ丘陵地の丘の間をぬけ、小さな丘がいくつも広がる田園都市「三木市」
東播磨 加古川の両岸に広がる田園地帯は 兵庫県特産の酒米山田錦の主要栽培地。

日本各地の酒蔵が競って契約する山田錦の栽培地が広がり、
毎年稔りの秋を迎えると神戸灘の酒蔵を始め、
日本各地の酒蔵の旗が畔を翻る山田錦の里が点々とつながる
今年の新酒の出来を占う酒米の出来。

順調な生育 頭を垂れる稲穂に期待が広がる山田錦の里の里巡り



2022.9.12. 三木市細川町垂穂の里で



2022.9.12. 三木市細川町垂穂の里で



2022.9.12. 三木市細川町で

加古川東岸を北へ 東播磨 酒米の郷 滝野・社IC 加東市木梨の里へ

灘の酒蔵「剣菱」と木梨の里が守り抜いた幻の酒米「愛山」の主栽培地

美囊川沿いを西へ抜ければ小野市に出られ、北の加東市へ向かうことができると思っていました、思いのほか南の神戸電鉄榎山駅周辺。位置確認すると思いのほか南 志染川と美囊川の合流点 三木市若宮周辺に。

直ぐ西に国道175号線 いつも自宅からダイレクトに小野や加西へ出かける道に合流
稔りの秋を迎える酒米山田錦の郷の田園地帯 三木市の酒米の郷を駆け抜けられて心地よし。

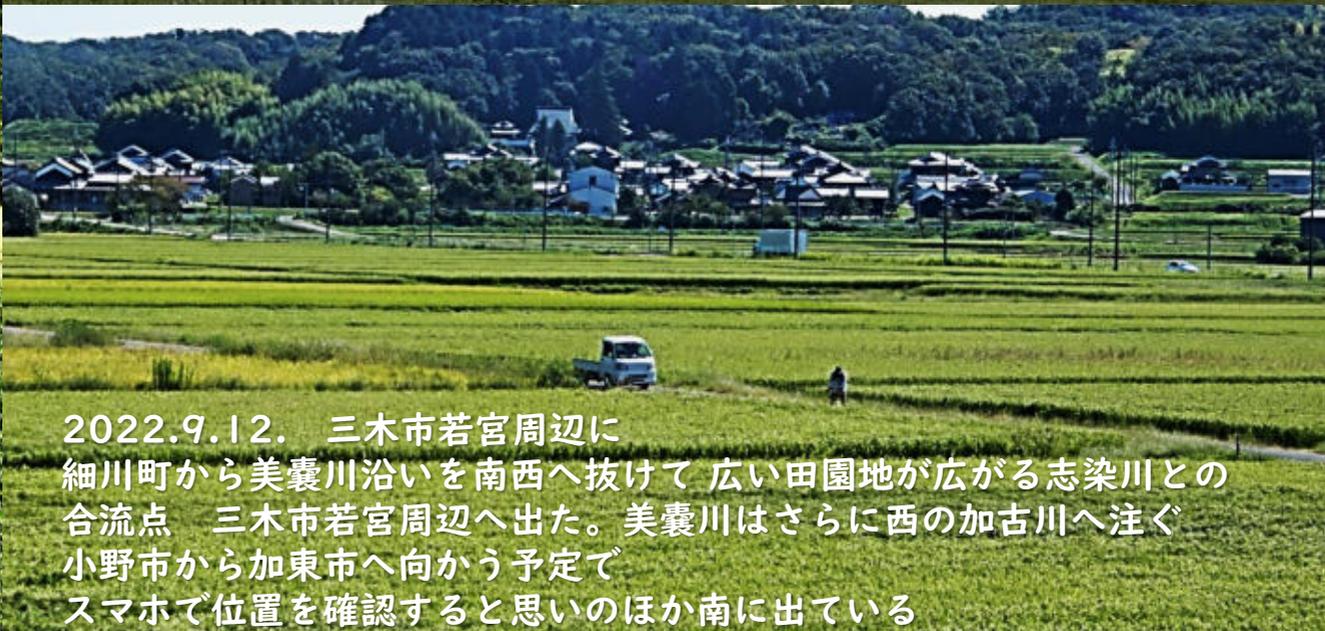
次の目的は北の小野市を抜けて、加東市の酒米の郷 木梨の里へ

特に加東市木梨の里は灘の剣菱が山田錦とともに幻の酒米といわれる「愛山」の主栽培地。

思い入れ一杯で巡る酒米の郷 コロナで3年ぶりの訪問だ。

ちょっと彼岸花が畔を飾るにまだ早い、空は快晴 秋の空

どんな初秋の田園風景がみられるか・・・



2022.9.12. 三木市若宮周辺に
細川町から美囊川沿いを南西へ抜けて広い田園地が広がる志染川との
合流点 三木市若宮周辺へ出た。美囊川はさらに西の加古川へ注ぐ
小野市から加東市へ向かう予定で
スマホで位置を確認すると思いのほか南に出ている



美囊川が右手南から志染川を合流して
左手 西の加古川へ合流する 三木市岩宮



里山の間広がる三木市の酒米の郷を出て、次は毎年訪れる北の酒米の郷 加東市木梨の里へ
西の平野部を北に走る国道175号を避けたくて、スマホの地図で確認した旧道県道23/18号を
通って加東市へ向かう。美しい五重塔のある金剛寺がすぐ近くにあるとスマホ地図に出たので
立ち寄ってみる。国道175号と共に何度も通ったことがある旧道。175号が田園の中を突き
切るのに対し、里と里を繋いで北に延びる生活道路である。小野市の市街地を抜け、中瀬古
の交差点で国道175号と交差して、県道567号に入ると加東市。田園の中を国道175号と並
行しつつ、北へ走れば、加東市の社そして木梨の里である。



4月第2日曜日 春祭り(鬼追い式)が行われているようだ
東播磨にも西神戸と同じような鬼踊りがあるようだ

小野市/加東市の境 国道175号/県道576号の交差点 中瀬古
交差点をそのまま北へ 酒米の郷 加東市木梨へ向かう



小野市/加東市の境 国道175号/県道576号 中瀬古の交差点を突き切り、加東市へ
中瀬古の里を抜け、田園地帯に入ると 遠く東西に延びる中国道沿いの山並がみえはじめ、加東市の中心 社・木梨の里へ

加東市社地区の中心 佐保神社のある嬉野台へ登る坂道になり、丘の上 佐保神社の前へ出る
今夏甲子園へ出場した社高校 社の地名の元 佐保神社の門前町として栄えた社地区
東西に延びる子の嬉野台 この丘の東部には神戸教育大ほかの新しい街ができている

国道175号が走る左手側 加古川の東岸に広々と広がる田園、背後に滝野・加西の山並
山並みの途切れたところが、加古川の流れ出し口 滝野の闘竜灘 西脇から奥へ 国道175号が中国山地へ分け入る。

田園の中 点々と家並みが続く県道576号線 国道175号と違って大型車両が通らないので、
周囲を眺めながら ゆっくり走れて 心地よい。道の正面に加東市社地区の中心嬉野台の丘が見え始める。





社・佐保神社前 この嬉野台の丘を北に下れば
この嬉野台の丘と 中国自動車道が走る山並に挟まれて、酒米の郷 加東市木梨の里が広がっている

■ 木梨の里の手前で 久し振りに 佐保神社に寄り道

御祭神は中央の御殿に天兒屋根命、東側の御殿に天照大神、西側の御殿に大己貴命（大国主命）の三神で、別名三社大明神と呼ばれていた。また佐保大明神とも称されるようになりました。旧称坂合神社 北播磨有数の神社として知られ、旧社町は門前町として発展した。この夏甲子園に兵庫県代表で出場した「社高校」はこの街の高校です



2022.9.12. 加東市社 佐保神社 瑞神門

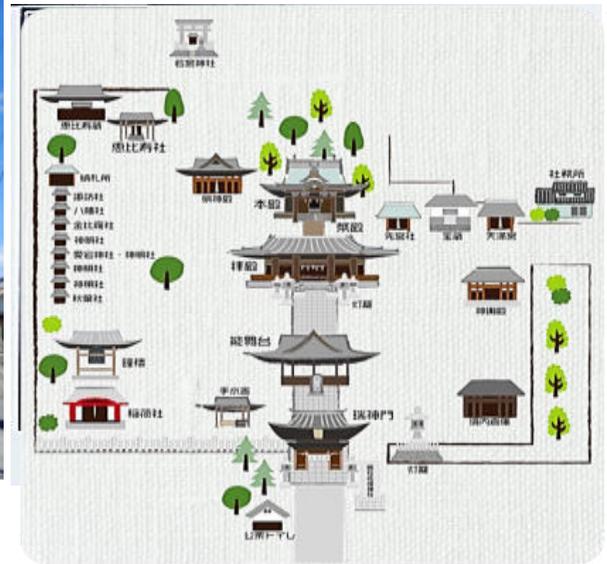


御祭神は中央の御殿に天児屋根命、東側の御殿に天照大神、西側の御殿に大己貴命（大国主命）の三神で、別名三社大明神と呼ばれていた。また佐保大明神とも称されるようになりました。旧称坂合神社 北播磨有数の神社として知られ、旧社町は門前町として発展した。社伝によれば、当社は垂仁天皇二十三年の創建で、元は鎌倉峰（現在地の北西約10km）に鎮座していたといい、養老六年（722年）三月に阿倍野三郎太夫なる人物が神託を受けて当地へ遷座したと伝えられています。

佐保神社 御由緒
 祭神 東殿 天照大神
 中殿 天児屋根命
 西殿 大己貴命
 旧社名 坂合神社
 旧社址 飛田明治寺境内
 創建 垂仁天皇二十三年
 遷座 養老六年（722年）
 例祭日
 春祭 四月十日（遷座日）
 秋祭 十月十六日
 兵庫県加西市佐保町 鎮座
 加西市佐保町佐保 佐保神社

佐保神社





加東市社 佐保神社 旧町名「社町」は佐保神社門前町として発展した

佐保神社由緒

当神社の始まりは、第十一代垂仁天皇二十三年の創建と伝えられていますが、この当時は加西の鎌倉峰に鎮座されていました。

その後、養老六年（七二二年）に現在地に遷座され、延喜式にも所載の古社であります。当地に遷座された頃は「坂合神社」と呼ばれておりましたが、いつの頃からか「佐保神社」と称されるようになりました。

鎌倉時代には、朝廷や幕府の崇敬を集め隆昌を誇り、尼將軍として有名な北条政子は、八丁四方に内の鳥居、一里四方に外の鳥居を造宮させました。

今でも、その中の一基（西の内の鳥居）は加東市鳥居地区に、地名と共に残っております。室町期に入り、度々の騒乱により一時荒廃いたしました。江戸時代に至って姫路城主池田輝政公の祈願所として社領十石を寄せられ、さらに幕府より御朱印社領十石を賜わるなど、ようやく復興いたしました。

また明治時代になり、官国弊社に次ぐ近郷唯一の県社の社格を付与されました。

なお、旧加東郡社町の名は往古より「佐保社村」と呼ばれ、当神社の門前町として発展してきたことに由来し、北播磨の雄として栄えてまいりました。

現在の本殿は、延享四年（一七四七年）に再建されたもので、三間社流造正面千鳥破風・銅板葺で、幣殿・拜殿・瑞神門とともに、華麗な彫刻で飾られています。

御祭神は 東殿（向って右）天照大神

中殿（中央）天児屋根命

西殿（向って左）大己貴命 の三神であります。

この他境内神社には、恵比寿神社・諏訪神社・八幡神社・神明神社・愛宕神社・金刀比羅宮・稻荷神社・先宮社・天神社などがあります。

また境外末社として若宮社があります。

佐保神社



加東市社 佐保神社 境内 2022.9.12.





加東市社 佐保神社 境内西端より、北の木梨の郷へ延びる県道を眺める
2022.9.12.



加西市

西脇

青野ヶ原

播磨中央公園

滝野町
闘龍灘★

★酒米の郷
加東市 木梨

★佐保神社

佐保神社から県道へ戻って 嬉野台地を北に越えると加東市木梨の郷
灘の酒蔵「剣菱」が里人と一緒にずっと継続栽培してきた
幻の酒米「愛山」を栽培する酒米の郷で 毎年訪れるのが楽しみな里

Google Earth



木梨の里を流れる千鳥川の堤に出て、西へ里の中をぬけて
北の中国自動車道沿いまで広がる木梨の田園地帯へ 3年ぶりの木梨の里に入る 2022.9.122.



千鳥側に北から木梨川が流れ込む合流点



佐保神社から北へ坂を下り、東から流れ込む千鳥川の堤に出れば、木梨の里
今年はどんな木梨の郷の田園風景がみられるか 楽しみで北へ 2022.9.122.

Google Earth

県道17号 木梨北 三草川にかかる木梨橋



千鳥川と三草川の合流点から北へ 三草川にかかる木梨橋に出る



An aerial view from Google Earth showing a paved road crossing a concrete bridge over a river. The surrounding area is lush green with fields and a large wooden building on the left. The sky is blue with scattered white clouds.

加東市木梨の田園を訪れる時の定点 中国自動車道沿い安住寺の下周辺

Google Earth

A ground-level view of a rural landscape. A paved road curves through green rice fields. Several utility poles with cross-arms are visible. In the background, there is a dense forest of tall trees under a blue sky with white clouds.

3年ぶりにみる木梨の里の初秋の風物詩

田園の畔のあちこちに酒蔵の旗が翻る加東市木梨の里景色



木梨 安住寺境内の坂道から高速道路を渡る橋に登って木梨の里の田園地帯を眺める
嬉野台・木梨の里を背に 稔りの秋を約束する 頭を垂れ始めた稲穂 2022.9.12.



木梨 安住寺



木梨 安住寺沿い 中国自動車道脇で

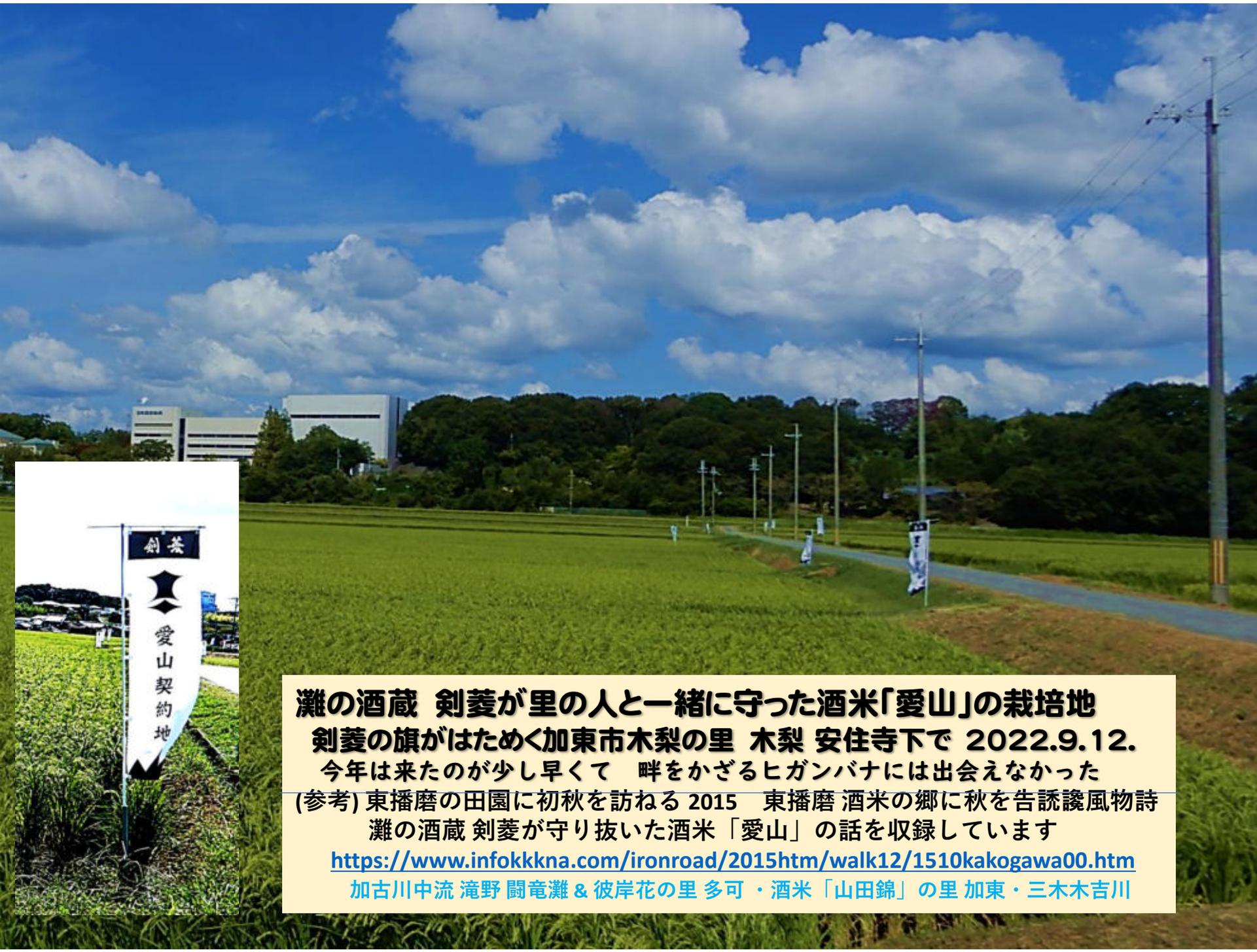


灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」
酒米のダイヤモンド」というらしい
私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に
使われていると聞く
まもなく 芳醇な新酒が出回るのが楽しみ



灘の酒蔵「剣菱」が里の人と一緒に守った
酒米「愛山」の栽培地
剣菱の旗がはためく加東市木梨の里
木梨 安住寺下で 2022.9.12.





灘の酒蔵 剣菱が里の人と一緒に守った酒米「愛山」の栽培地

剣菱の旗がはためく加東市木梨の里 木梨 安住寺下で 2022.9.12.

今年は来たのが少し早くて 畔をかざるヒガンバナには出会えなかった

(参考) 東播磨の田園に初秋を訪ねる 2015 東播磨 酒米の郷に秋を告誡譚風物詩

灘の酒蔵 剣菱が守り抜いた酒米「愛山」の話を収録しています

<https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/walk12/1510kakogawa00.htm>

加古川中流 滝野 鬮竜灘 & 彼岸花の里 多可・酒米「山田錦」の里 加東・三木木吉川

東播磨初秋の風物詩 酒蔵の旗が田の畔を飾る酒米の郷の里景色

3年ぶりの心地よい東播磨 原チャリwalkになりました。

木梨から さらに加古川の奥の多可町でも酒蔵の旗が田の畔を飾る美しい里景色が見られるのですが、今回は加古川の西岸へ渡って加東市滝野の鬩竜灘の景観を眺めて、加西市の田園地帯を南に下って 真っ白な蕎麦の花が野を埋める小野市来住野を眺めて帰ることに。途中ハプニング 加西の田園に戦争遺産 鞆野飛行場跡地の案内板を見つけて見学も。なんせ まだまだ日は長いので、ブラブラの風来坊を楽しみながら神戸へ帰ることに



東播磨初秋の風物詩 酒米の郷 田の畔を飾る酒蔵の旗 2022.9.12.

酒米の郷木梨の里から、加古川閼龍灘→加西鶉野飛行場跡→小野きすみ野のそば畑へ



滝野町
加古川閼龍灘★

酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨) & 三木市(吉川・細川町)

★加東市
木梨 & 社 佐保神社

鶉野飛行場
滑走路跡地★
★加西
フラワー
セクター

網引湿原★

小野町★
来住野のそば畑

加古川市
志方★

上荘橋★

★三木市
細川町

★淡河

★志染

★箕谷

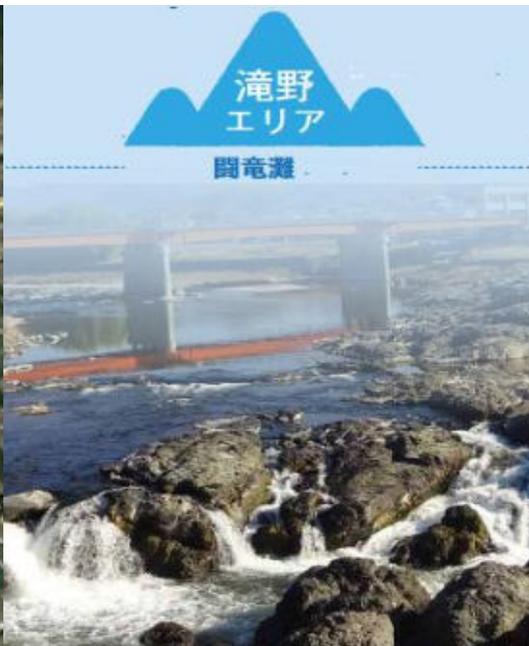
★神出

西神中央★

伊川谷★

★若草の丘

神戸市



清流加古川の川底いっばいに奇岩・怪岩が起伏し、落水の豪快なリズムと四季折々の水模様に魅了されます。また、竜の躍動に似たことで名が付いた飛び点の名所としても有名です。毎年5月1日には鮎漁が解禁されます。



加古川舟運関係図



閻竜橋 県道349/294

国道175
多井田

展望公園
閻竜スキエア

閻竜灘

滝野



閻竜橋 県道349/294

展望公園
閻竜スキエア

駐車場

閻竜灘

滝見橋

新町河岸跡

クリンロード

至国道175
木梨

洋食のオーグン滝野社店

ワールドプラスジム 滝野社店

道楽滝野店

国道
175

Google Earth



夏の暑さをふっとばし 元気をもらった飛び鮎の清流
しぶきをあげて流れ下る加古川の流れ 闘竜灘
その水音が心地よし

もう何年ぶりでしょうか・・・ 闘竜灘に行ってきました
加東町木梨の里のすぐ西 中国自動車道 社・滝野ICの北で西へ 国道175号をクロスし、さらに加古川
の西岸に渡ると加東市滝野の市中。
川に沿って北へ 街中の狭い道を少し遡ると川べりに大きな駐車場を隣接する闘竜灘の展望公園
川床全体に奇岩が並ぶ間を縫って しぶきをあげて流れ下る加古川の流れ
2022.9.12. 加東市滝野 闘竜灘で



2022.9.12.加東市滝野 闘竜灘の下流側

下流側も 川床は川幅一杯に広がった奇岩

狭い水路が開かれていて、勢いよく水が流れ下ってゆく

舟は上流と下流でそれぞれ一旦荷を下ろし、陸運後再び舟に積み替えて運搬。

滝野はその中継地として加古川水運で栄えたという。

ちなみに この加古川水系から日本海側への分水嶺は日本一低い分水嶺(氷上町石生 水別れ公園)



闘竜灘の名の由来

一道の飛瀧地を劈きて開き 怒声豪勢風雷と闘ふ
秋は千巖に入りて霜葉麗し 玉龍躍り出でて錦雲堆む

岩をかんで激しく流れる滝は、まるで竜が闘うようである

——— 梁川星巖（江戸時代末期の詩人）

「飛び鮎」

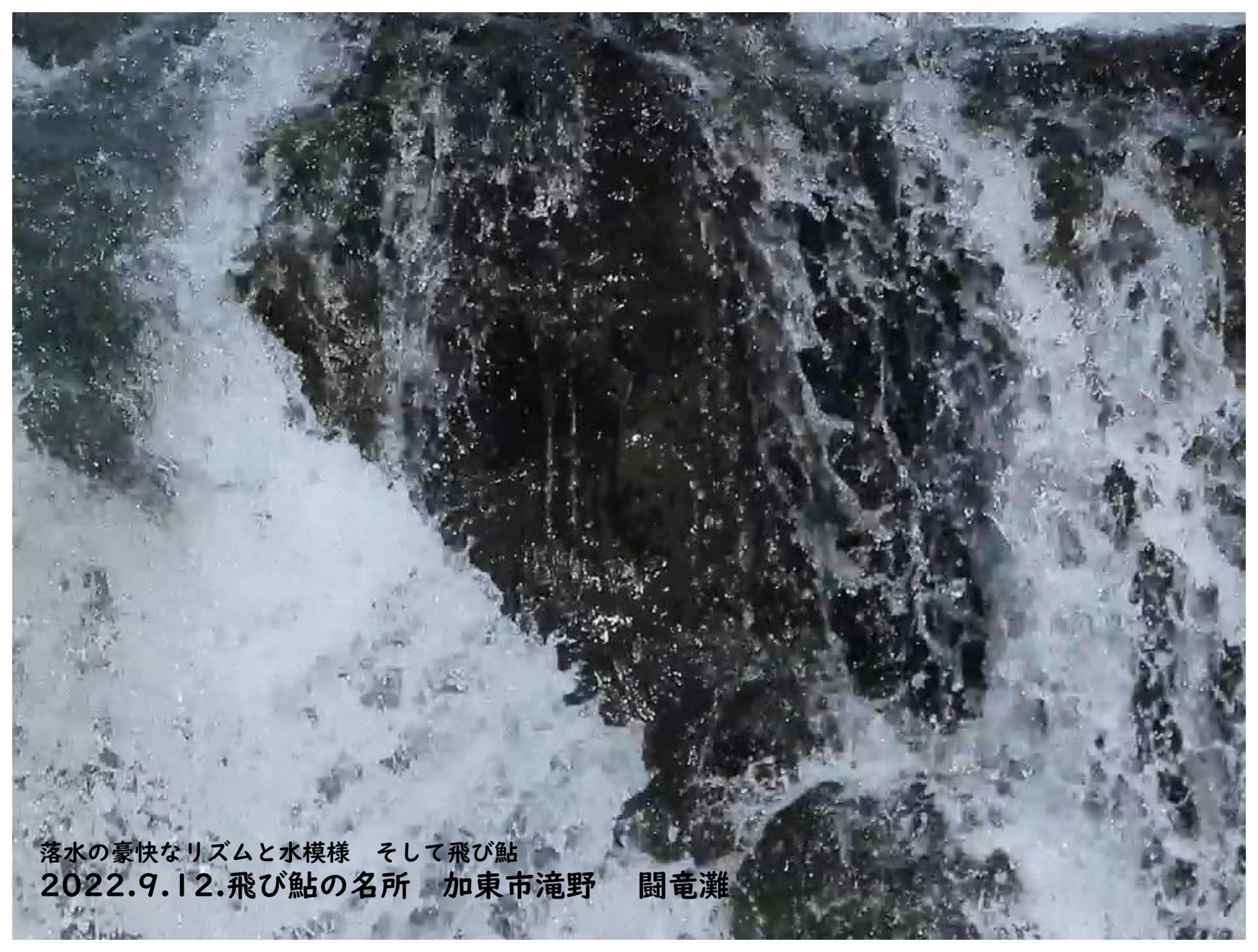
この滝になって流れ下る清流をアユが飛び跳ねて上流へ登ってゆくという
川床に降りて 目を凝らすのですが、見つけれずでした。
デジカメの動画に映っているかも……………

2022.9.12. 加東市滝野 闘竜灘で



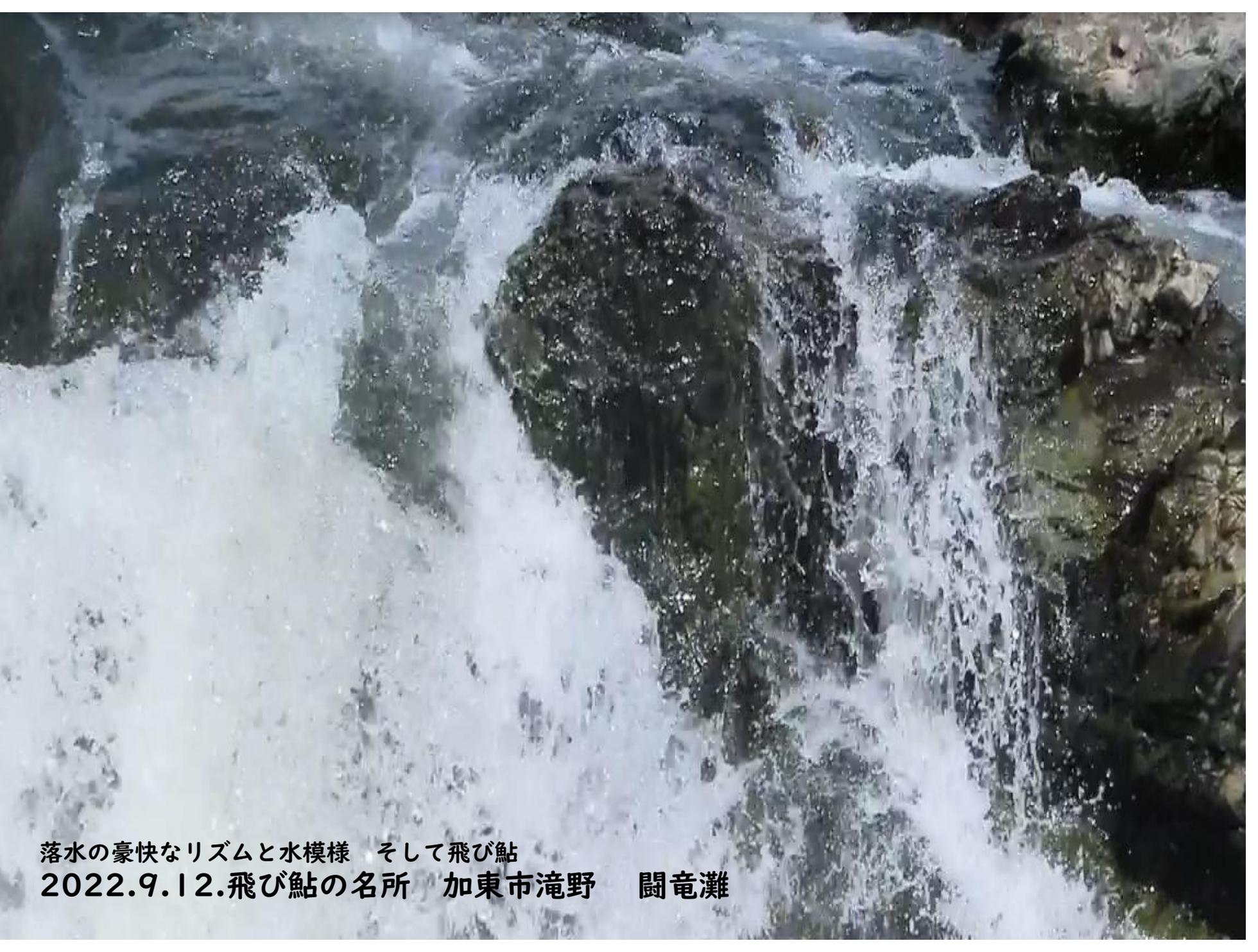
清流加古川の川底いっぱい奇岩・怪岩が起伏し、
落水の豪快なリズムと水模様 そして飛び鮎

2022.9.12.飛び鮎の名所 加東市滝野 闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様 そして飛び鮎

2022.9.12.飛び鮎の名所 加東市滝野 闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎

2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様　そして飛び鮎

2022.9.12.飛び鮎の名所　加東市滝野　闘竜灘



落水の豪快なリズムと水模様 そして飛び鮎
2022.9.12.飛び鮎の名所 加東市滝野 闘竜灘



2022.9.12.飛び鮎の名所 加東市滝野 闘竜灘



2022.9.12.飛び鮎の名所 加東市滝野 闘竜灘

加西市鶉野飛行場滑走路と戦争遺産の見学へ

ふと思い立って、今加古川の西岸へ渡って加東市滝野の鬪竜灘の景観を眺めて、加西市の田園地帯を原チャリで南に駆ける途中で見つけた加西の戦争遺産、鶉野飛行場跡地の案内板。風来坊の楽しみがまた一つ。

登龍灘

★酒米の郷
加東市 木梨

加西市

加西IC

加西フラワーセンター

自衛隊
青野ヶ原
演習場

青野ヶ原

鶉野飛行場戦争遺跡
「無蓋掩体壕」★

鶉野飛行場
滑走路跡地★

鶉野町



鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺野飛行場戦争遺産(インターネット参考資料より)

閩龍灘から加西を通過して、加古川西岸の小野市来住野への途中
見つけた鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺野飛行場戦争遺産



北東に延びる滑走路跡 滑走路跡北端部に鶺野飛行場滑走路跡ミュージアム

南西に延びる滑走路跡 背後に見える山並みは小野アルプスの山並?

旧鶺野飛行場
巨大防空壕跡

神戸大学大学院農学
研究科 附属食資源

鶺野飛行場滑走路跡地

地下防空壕(コンクリー
鶺野飛行場

加西市地域活性化拠点施設 「Solaかさい」

<https://www.sorakasai.jp/index.html>

鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺戦争遺跡展示資料館としてミュージアムが整備されていましたが、休館日で見学できず、残念でした滑走路跡地や周辺に点在する鶺野飛行場の戦争遺産がこんなによく整備して残されていることにビックリしました。

資料 加西・鶺野飛行場跡

(加西教育委員会編 5IP)

<https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/2140.pdf>

加西市鶺野飛行場跡 home Page

<https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/4/1780.html>

閩龍灘から加西を通過して、加古川西岸の小野市来住野への
途中で見つけた鶺野飛行場滑走路跡。
地名前は知っていましたが、鶺野飛行場戦争遺産まで
そっくりそのまま残っているとよく知らず。
見学する良い機会となりました。





県道23号フラワーセンター前 鶯野飛行場跡への分岐
 いつもは左:県道23号を小野方面へ向かうのですが、
 今日は右の鶯野飛行場跡の標識のある鶯野の里を抜けて、小野へ



県道716号加西市豊倉町の交差点から、よく知る県道23号
 フラワーセンターの前から、加西の田園地帯を抜けて、東の加古川西岸小野市へ戻ってゆく



鶉野飛行場 戦争遺産「無蓋掩体壕」と SNJ-5練習機展示
2022.9.12. 加西市鶉野 奉天池の縁で

加西フラワーセンター前で 県道23号を離れ、田園地帯をまっすぐ鶉野へ。
奉天池のすぐ横で 飛行機が展示されている戦争遺跡「無蓋掩体壕」前に
この場所の意味がよく分かりませんでした。展示案内で飛来する米軍機から、特攻機を樹木な
どで覆って 隠した場所(無蓋掩体壕)の一つとわかりました。
ここが滑走路跡のすぐそばと思いましたが、もう少し東へ走ったところでした。

本土決戦に備えた 掩体壕

昭和20年に入り鶉野飛行場周辺に飛行機を温存するための 掩体壕が作られました。

7月には、筑波海軍航空隊より『紫電』が30機、第3岡崎海軍航空隊より93式中間練習機も配備され米軍機による攻撃に対処するため誘導路(15,000m)に隣接した55箇所の掩体壕に隠蔽する状況を絵画にしました。

これらの飛行機は、迫り来る米軍を迎え撃つため姫路基地が、本土決戦の基地となりこのように温存されました。

(海軍の兵士や、国民学校の生徒達が木の枝を運び隠すことにより、米戦闘機からの攻撃を防ぐことが出来ました)

終戦時鶉野に残った飛行機

紫電57機・紫電改13機、零戦、白菊等を併せ80機が無傷で残った。

この絵は加東市の服部 武司 様が描かれました。

一般社団法人鶉野平和祈念の碑苑保存会

掩体壕とは、飛行場に駐機する軍用機を上空の敵機から守るために作られた格納庫

太平洋戦争末期、米軍による本土空襲が激しくなる状況で、全国の軍用飛行場に構築されました。掩体壕には、コンクリート製の屋根で作られた有蓋型(ゆうがいがた)と、屋根がなく土を土塁状に固めた無蓋型(むがいがた)があります。



鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺野飛行場戦争遺産(インターネット参考資料より)

閩龍灘から加西を通過して、加古川西岸の小野市来住野への途中
見つけた鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺野飛行場戦争遺産



北東に延びる滑走路跡 滑走路跡北端部に鶺野飛行場滑走路跡ミュージアム

南西に延びる滑走路跡 背後に見える山並みは小野アルプスの山並?

旧鶺野飛行場
巨大防空壕跡

神戸大学大学院農学
研究科 附属食資源

鶺野飛行場滑走路跡地

地下防空壕(コンクリー
鶺野飛行場

加西市地域活性化拠点施設 「Solaかさい」

<https://www.sorakasai.jp/index.html>

鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺戦争遺産展示資料館としてミュージアムが整備されていましたが、休館日で見学できず、残念でした滑走路跡地や周辺に点在する鶺野飛行場の戦争遺跡がこんなによく整備して残されていることにビックリしました。

資料 加西・鶺野飛行場跡

(加西教育委員会編 5IP)

<https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/2140.pdf>

加西市鶺野飛行場跡 home Page

<https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/4/1780.html>

閩龍灘から加西を通過して、加古川西岸の小野市来住野への
途中で見つけた鶺野飛行場滑走路跡。
地名前は知っていましたが、鶺野飛行場戦争遺産が
そっくりそのまま残っているとよく知らず。
見学する良い機会となりました。



北東から南西へ田園地の中に延びる鶉野飛行場滑走路跡地

2022.9.12.

Google Earth



奉天池の東を少しゆくと 交差点を横切って南北にまっすぐ伸びる滑走路跡が見え、鶉野飛行場跡と知れた。交差点周辺は今整備中。左手側に新しく整備された道路チャコールの三角屋根の建物がみえ、それが案内標識にある鶉野飛行場跡資料館。正式には加西市が進めている鶉野飛行場跡地とその戦争遺産保存整備の拠点「Soraかさい(加西市地域活性化拠点施設)」鶉野飛行場滑走路跡ミュージアムでした。残念ながら休館日でミュージアムの中にある展示はみれずでした。鶉野飛行場滑走路跡地と戦争遺産の保存整備がこんなに進んでいるとは全く知らず。スマホと広場にある案内で概要を調べ、滑走路跡地とかつての鶉野飛行場の諸施設(戦争遺産)を巡りました。鶉野飛行場の戦争遺跡はきっちり順路案内が順路に整備されています。。



滑走路中央部より 北東に延びる滑走路跡 滑走路跡北端部に鶉野飛行場滑走路跡ミュージアムが見える



滑走路中央部より 南西に延びる滑走路跡 背後に見える山並みは小野アルプスの山並?



① 加西市地域活性化拠点施設
「soraがさい」

鶯野飛行場に関連する展示
(歴史や飛行機の実物大模型
など)、物販・飲食、観光案内、
イベントなど各種交流の機能
を有しています。



「Soraがさい(加西市地域活性化拠点施設)」前より、南側へ鶯野飛行場滑走路跡



「Soraがさい(加西市地域活性化拠点施設)」



鶯野飛行場滑走路跡と
点在する戦争遺産



鶯野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り



③ 鶯野飛行場滑走路跡



当時のままの滑走路跡が残る、全国でも貴重な戦争遺産です。歩きやすく、取壊も整頓されています。周辺には飲食店なども点在しています。



鶯野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り



① 加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」



鶯野飛行場に隣接する展示(歴史や飛行機の实物大模型など)、物販・飲食、観覧室内、イベントなど各種交流の場を有しています。

② 鶯野平和祈念の碑苑



戦争のない平和が永遠に続くことを願い、平成13年に、天降兵やご遺族、地元有志などにより建立されました。

③ 鶯野飛行場滑走路跡



戦時のままの滑走路跡が残る。全国でも貴重な戦争遺跡です。歩きやすく、散策道も整備されています。周辺には防空壕なども点在しています。

④ 巨大防空壕跡(自力発電所跡)



長さ14.5m、幅5m、高さ5mの空間を持つ基地内最大のコンクリート製防空壕です。防空壕内では当時の特攻隊員たちが出撃前に残した遺書を数巻で公開しています。

⑤ 対空機銃座跡



攻撃してくる飛行機を迎え撃つための機銃座で、1分間に230発の弾を5,000mまで発射できたそうです。地下室も含め、完全な状態で残っています。

⑥ 門柱・衛兵詰所跡



部隊軍用航空隊への入り口がありました。門柱、衛兵詰所、訪問者との待合所をイメージした休憩所が整備され、工事の際に見つかった門柱基礎が展示されています。

⑦ 防空壕跡



鶯野飛行場跡周辺には、コンクリート製や土製の防空壕が点在しています。

⑧ 爆弾庫跡



防弾、爆弾、燃焼弾に装備した機銃弾が貯蔵されていたといわれています。コンクリートの壁は1mの厚みがあり、1メートルにも耐える構造となっています。

⑨ 北条鉄道 法華口駅



部隊軍用航空隊の乗客駅として使えた駅です。現在は、懐かしい外観が駅舎内で、パンの販売やレンタサイクルの貸付などを行う。加西市観光の主要なポイントです。国産稲刈り文化祭。

かざい観光Navl
加西市歴史街道
ポアンティアガイド

加西市歴史遺産群
散策ナビ
「REKINAVI」

加西市歴史街道
ポアンティアガイド
0790-43-1110
7:45-12:00
加西市歴史街道北条口駅前1000番地
南門町 電話4年4月

鶯野飛行場跡戦争遺跡巡りガイドマップ他資料や案内もよく整備されているようですが、今回は休館日で得られずでした。この「SORA加西」前から戦争遺跡を巡る案内標識がしっかりつけられていたので、それに従って、滑走路跡の北端から南端まで原チャリで巡って、そのまま小野へ戻りました。

② 鶯野平和祈念の碑苑



戦争のない平和が永遠に続くことを願い、平成11年に、元隊員やご遺族、地元有恵などにより建立されました。



③ 鶉野飛行場滑走路跡



当時のままの滑走路跡が残る、全国でも貴重な戦争遺跡です。歩きやすく、散策道も整備されています。周辺には防空壕なども点在しています。



滑走路中央部より 北東側から南西に延びる滑走路跡 2022.9.12.
神戸への帰路の小野アルプスなどが背後に見える



④ 巨大防空壕跡(自力発電所跡)



長さ14.5m、幅5m、高さ5mの空間を持つ基地内最大のコンクリート製防空壕です。防空壕内では当時の特攻隊員たちが出撃前に残した遺書を映像で公開しています。



鶯野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り

⑤ 対空機銃座跡



攻撃してくる飛行機を迎え撃つための機銃座で、1分間に230発の弾を5,000mまで発射できたそうです。地下室も含め、完全な状態で残っています。





6 門柱・衛兵詰所跡



姫路海軍航空隊への入り口がありました。門柱、衛兵詰所、訪問者との面会所をイメージした休憩所が整備され、工事の際に発見された門柱基礎が展示されています。



7 防空壕跡



鶉野飛行場跡周辺には、コンクリート製や素掘の防空壕が点在しています。



「姫路海軍航空隊」入口手前の坂道脇の防空壕

⑦ 防空壕跡



鶯野飛行場跡周辺には、コンクリート製や素掘の防空壕が点在しています。

「姫路海軍航空隊」門標手前の坂道にある防空壕

⑥ 門柱・衛兵詰所跡



姫路海軍航空隊への入り口がありました。門柱、衛兵詰所、訪問者との面会所をイメージした休憩所が整備され、工事の際に発見された門柱基礎が展示されています。

「姫路海軍航空隊」入口 門標と衛兵詰所

鶉野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り



門標のある入口の後ろの林が滑走路の南端 この森を越えて飛行機が飛んで行ったのだろう
門標の内側のきれいな建物はトイレ ここから北に広がる田園が見渡せ、すぐ横にも防空壕跡がありました。



⑥ 門柱・衛兵詰所跡



姫路海軍航空隊への入り口がありました。門柱、衛兵詰所、訪問者との面会所をイメージした休憩所が整備され、工事の際に発見された門柱基礎が展示されています。

鶉野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り



鶉野飛行場跡への南側からの入口への坂道
奥に「姫路海軍航空隊」入口が見える
また この坂道右の丘の中に防空壕や爆弾庫
跡が残されていました



7 防空壕跡 (素掘)



鶉野飛行場跡周辺には、コンクリート製や素掘の防空壕が点在しています。



8 爆弾庫跡



砲弾、爆弾、戦時機に装備した機銃弾が貯蔵されていたといわれています。コンクリートの壁は1mの厚みがあり、1t爆弾にも耐える構造となっています。

⑧爆弾庫跡



砲弾、爆弾、戦闘機に装備した機銃弾が貯蔵されていたといわれています。コンクリートの壁は1mの厚みがあり、1t爆弾にも耐える構造となっています。



鶉野(うづらの)飛行場跡戦争遺産巡り



「姫路海軍航空隊」入口 衛兵詰所の横から飛行場滑走路跡地南端部周辺の遠望
田園地帯に押し寄せる都市化の波の中 次々と田園地帯に残る過去の遺産が残される中
鶉野飛行場滑走路や諸施設の戦争遺産群がこんなによく整備されていて残されているとは
全く知りませんでした。忘れてはならぬ戦争遺跡・戦争遺産です。

鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺野飛行場戦争遺産(インターネット参考資料より)

閻龍灘から加西をって、加古川西岸の小野市来住野への途中
見つけた鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺野飛行場戦争遺跡



加西市地域活性化拠点施設 「Solaかさい」

<https://www.sorakasai.jp/index.html>
鶺野飛行場滑走路跡地 & 鶺戦争遺跡展示資料館としてミュージアムが整備されていましたが、休館日で見学できず、残念でした滑走路跡地や周辺に点在する鶺野飛行場の戦争遺跡がこんなによく整備して残されていることにビックリしました。

資料 加西・鶺野飛行場跡
(加西教育委員会編 5IP)
<https://www.city.kasai.hyogo.jp/uploaded/attachment/2140.pdf>
加西市鶺野飛行場跡 home Page
<https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/4/1780.html>

閻龍灘から加西をって、加古川西岸の小野市来住野への
途中で見つけた鶺野飛行場滑走路跡。
地名前は知っていましたが、鶺野飛行場戦争遺産まで
すっかりそのまま残っているとよく知らず。
見学する良い機会となりました。
このままずっと維持してほしいと願う



加西市鶉野飛行場滑走路と戦争遺産walk 2022. 9. 12.



北東に延びる滑走路跡 滑走路跡北端部に鶉野飛行場滑走路跡ミュージアム



南西に延びる滑走路跡 背後に見える山並みは小野アルプスの山並?

加古川の西岸へ渡って加東市滝野の闘竜灘の景観を眺めて、加西市の田園地帯を原チャリで南に駆ける風来坊walk」途中で見つけた案内板「加西の戦争遺産 鶉野飛行場跡地 東播磨の田園を駆ける楽しみがまた一つできました



加西フラワーセンター

鶉野飛行場戦争遺跡「無蓋掩体壕」★

鶉野飛行場滑走路跡地★

鶉野町

青野ヶ原

Google Earth

加西の戦争遺産 鶉野飛行場跡地から南東へ田園を駆けて加古川西岸、
 小野市 JR小野町駅周辺 きすみ野を真っ白にする蕎麦の花を見て、
 上荘橋から稲美野を抜けて帰る。蕎麦の花が咲いているか、ちょっと不安ですが、
 咲いてほしいなあと思いながらJR小野町駅があるきすみ野へ加古川西岸を駆ける

滝野町閻龍灘★

酒米「山田錦」の郷
 加東市(木梨) & 三木市(吉川・細川町)

★加東市
 木梨 & 社 佐保神社

鶉野飛行場
 滑走路跡地★

★加西
 フラワー
 セクター



網引湿原★

加古川市
 志方★

小野町★
 来住野のそば畑

上荘橋★

★志染

★三木市
 細川町

★淡河



加古川市志方の土手の上の小野市農産物産 2022.7.12
 野名通りを走る東洋の蕎麦畑
 加古川の土手の上の蕎麦畑にも、こんな美しいそば畑



伊川谷★

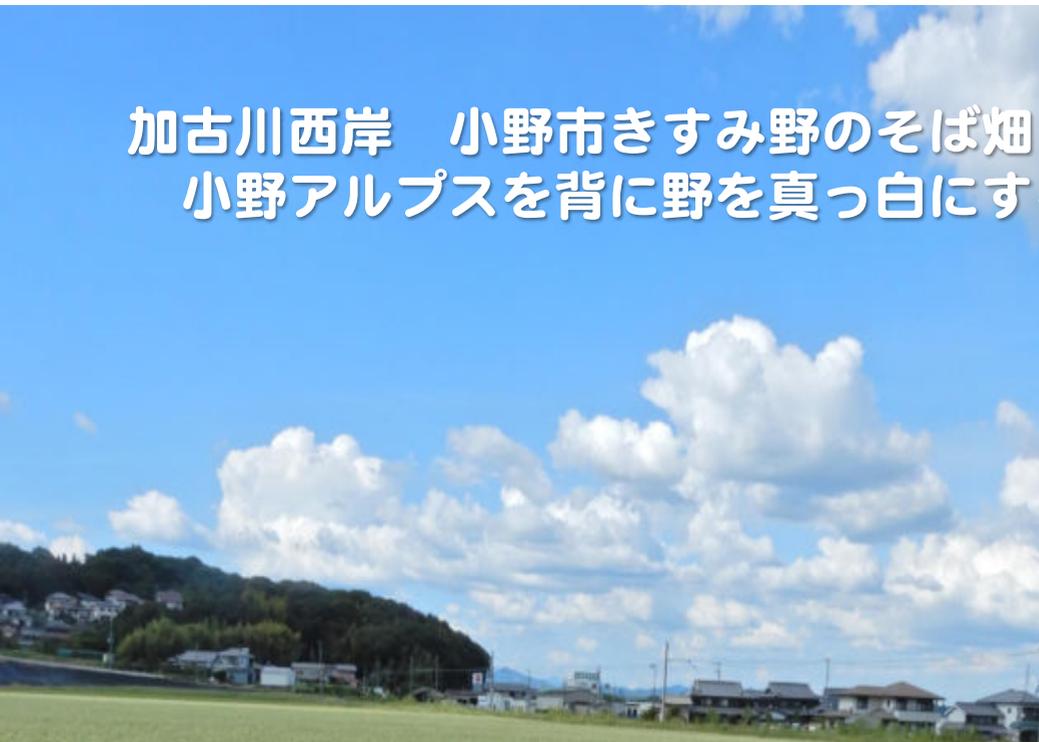
★若草の丘

神戸市



加西市鶉野から南へ加西の南の壁小野アルプスの山裾へ 田園地を駆け抜けて
北条鉄道が走る網引駅周辺に出て、山裾 北条鉄道沿いを東へ
加古川に注ぐ万願寺川沿いから加古川西岸土手を南に下って小野市に入る。
まもなく 稔りの秋を迎える広大な加西の田園地帯が美しい。2022.9.12

加古川西岸 小野市きすみ野のそば畑 2022.9.12.
小野アルプスを背に野を真っ白にする蕎麦の花



加古川中流西岸の土手の下の小野市来住で 2022.9.12.
少し花が咲くのには早いかと思いましたが
野を真っ白にするそばの花が迎えてくれました

加西市鶉野から南へ田園地を駆け抜けて 加古川に注ぐ万願寺川沿いから加古川西岸土手を南に下り、小野市に入る。正面に見慣れた小野アルプスがみえ、土手を右に下って きすみ野へ 正確には加古川に沿ってJR加古川線 小野町周辺 來住(きし)の郷 周辺の田園は稲作・蕎麦の栽培が盛んな地である



小野市下来住野の里へ下りる標識からきすみ野へ入るとすぐに 田園地を真っ白に染めた蕎麦畑が飛び込んできました



加古川中流西岸の土手の下の小野市東来住で 2022.9.12.
野を真っ白にする来住野の蕎麦畑で
加古川の土手の下の東来住にも こんな美しいそば畑



JR小野町駅の南側にて、
小野アルプスの山並を背に広がるきす野のそば畑 2022.9.12.
小野駅の駅蕎麦「きすみの」は残念ながら時間切れでアウト
ゆっくり来住野のそば畑を眺めながら、帰路に

西の鴨池から東へ傾斜地に広がるきす野のそば畑
2022.9.12.

ちょっと時期がはやかったのですが
初秋小野市きすみ野の風物詩
野を真っ白に染める蕎麦の花に出会えました





小野アルプスの山並を背に広がる
来住野のそば畑 2022.9.12.

A wide-angle photograph of a buckwheat field in full bloom. The foreground and middle ground are filled with green stalks topped with clusters of small white flowers. In the background, there are rolling hills and a few buildings under a bright blue sky with scattered white clouds. The overall scene is peaceful and scenic.

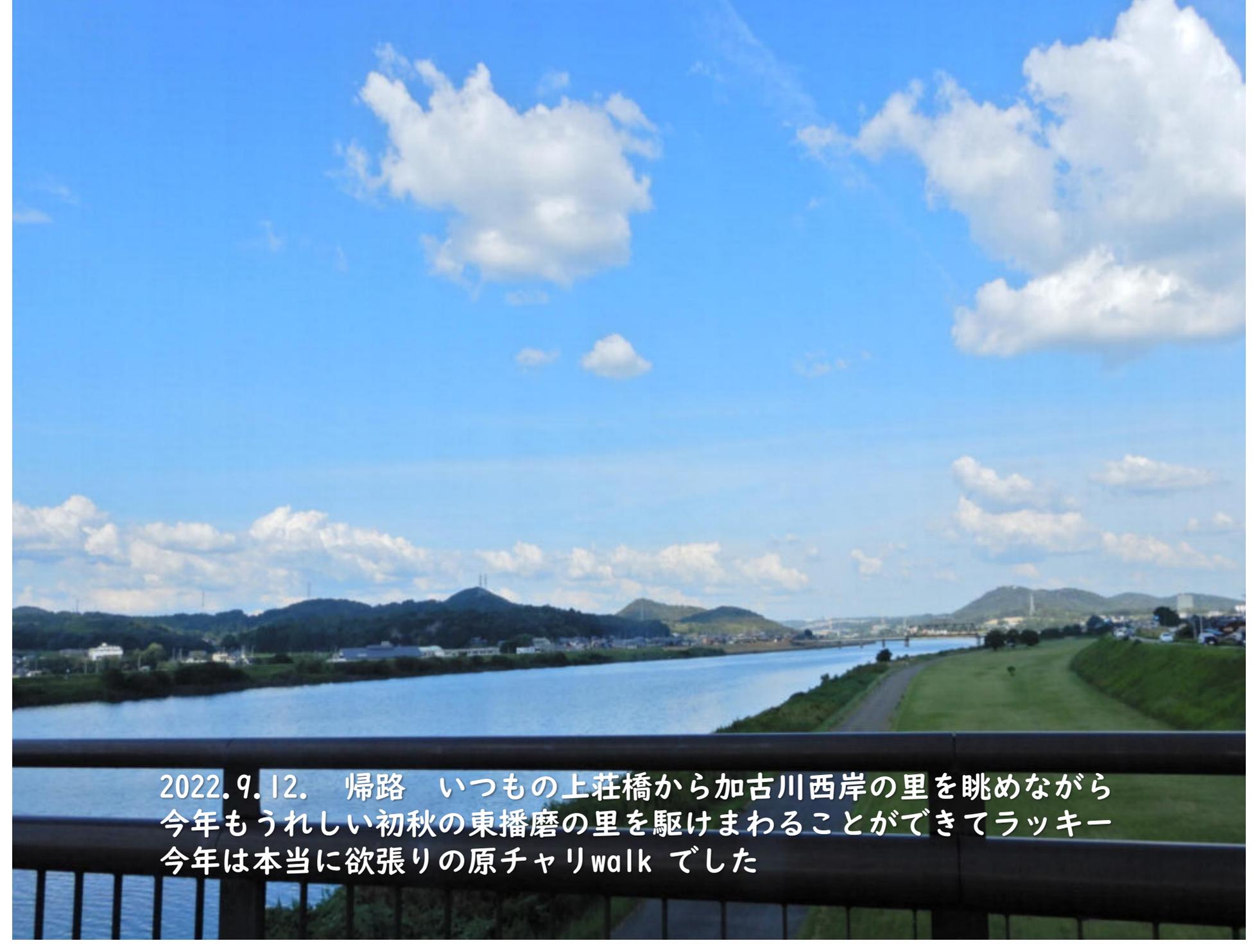
咲き始めた来住野のそばの花 2022.9.12.
今年も出会えて うれしい秋の訪れ ラッキー



咲き始めた来住野のそばの花 2022.9.12.
花言葉は「懐かしい思い出」
今年も出会えて うれしい秋の訪れ ラッキー

A photograph of a vast field of buckwheat flowers in full bloom. The flowers are small, white, and arranged in dense clusters on tall green stems. The field extends to the horizon, where rolling hills and a few buildings are visible under a bright, slightly cloudy sky. The overall scene is peaceful and scenic, capturing the beauty of a rural landscape in autumn.

咲き始めた来住野のそばの花 2022.9.12.
今年も出会えて うれしい秋の訪れ ラッキー
機会があれば、もう一度この秋訪ねて
ピンクのコスモス畑と一緒にみられるかなあ・・・



2022.9.12. 帰路 いつもの上荘橋から加古川西岸の里を眺めながら
今年もうれしい初秋の東播磨の里を駆けまわることができてラッキー
今年は本当に欲張りの原チャリwalk でした

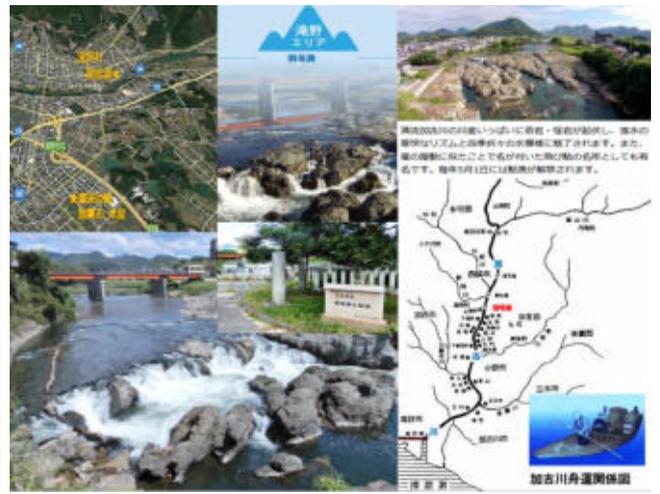
東播磨 初秋の風物詩



2022.9.12. 三木市福川町養稚の里で
 蕨の酒蔵の旗が群をかざる初秋の風物詩。
 伊賀谷からまよふ谷奥へな陸地の丘の麓を駆け、小さな丘がいくつも広がる山田餅市「三木市
 養稚 加吉川の西岸に広がる田園地帯は 兵庫県特産の酒米山田餅の主要栽培地。
 甘香な穂の揺蕩が随って契約する山田餅の栽培地が広がり、
 暮秋の秋を迎えと神戸産の酒蔵を始め、
 日本各地の酒蔵の旗が群を誇る山田餅の里が点々つながら
 今年の新酒の出来を告げる酒米の出来。
 順調な生育、旗を垂れる稲穂に期待が広がる山田餅の里の夏通り



蕨の酒蔵「初鹿」の酒米「愛山」
 酒米のダイナマンドをいっしょに
 私の知る伝統酒の酒「精進」に
 使われていると聞く。 /
 まもなく芳醇な新酒が出来上がるのが楽しみ
 蕨の酒蔵「初鹿」が里の入り口に立つ
 酒米「愛山」の栽培地
 初鹿の旗がはたらく加東市木梨の里
 木梨 敬佳です！ 2022.9.12.



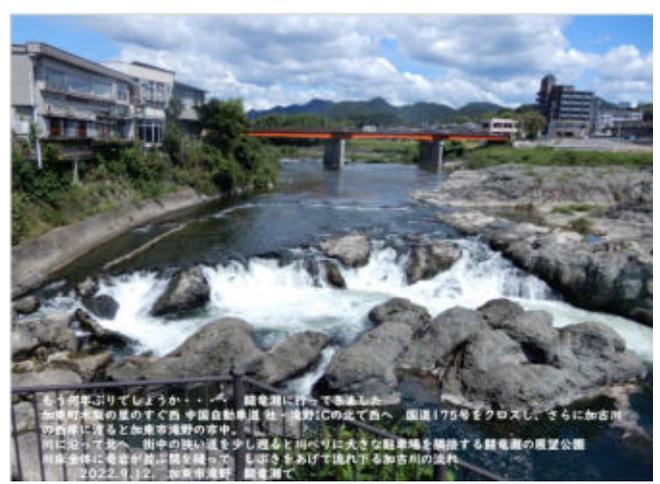
加吉川川筋開通図
 加吉川川筋開通図
 加吉川川筋開通図



3年ぶりにみる木梨の里の初秋の風物詩
 田園の群のあちこちに酒蔵の旗が翻る加東市木梨の里景色
 2022.9.12. 加東市木梨 安住寺下の田園で



2022.9.12. 三木市福川町養稚の里で



3年ぶりに見ようか... 加東市木梨の里のすぐ西 中国自動車道 社一連野ICの北で西へ 国道177号をクロスし、さらに加吉川
 の西岸に流ると加東市福野の市中。 川に沿って北へ。 街中の狭い道を少し進ると川べりに大きな駐車場を構える龍電園の風景公園
 川岸全体に電線が架かる橋を渡って、もどきもどきと流れる加吉川の清流
 2022.9.12. 加東市福野 龍電園で



加吉川川筋開通の土手下の心野平農事地区。 2022.9.12.
 旗を高く掲げる米農家の風景は、
 加吉川の土手下の農家達にも、 一人一葉しゅんばぬ
 小瀬下川平山麓を望むに広がる
 農産物の収穫祭。 2022.9.12.



加東市木梨の里の風景公園
 加東市木梨の里の風景公園



加吉川川筋開通図
 加吉川川筋開通図

東播磨 初秋の風物詩 田園地帯の里景色 本当にうれしい風来坊 初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。

- 1.東播磨 酒米山田錦の郷 秋迎えの風物詩
糖りの畔に飄る酒蔵の旗 三木市・加東市
- 2.奇岩・怪岩が連続する加古川の中流 加東町滝野
岩に阻まれた水しぶきをあげて流れ下る闘竜灘
- 3.旧日本海軍の練習航空隊の飛行場跡 加西市鶉野
世界大戦の歴史をそっくり甦す
鶉野(うずらの)飛行場滑走路跡地
- 4.小野市来住野 真っ白な蕎麦の花 小野市来住野



滝野町

★闘龍灘★
佐保神社★

★酒米「山田錦」の郷
加東市(木梨)
&三木市(吉川・細川)

★鶉野飛行場
滑走路跡地

小野町★
来住野のそば畑

上荘橋

★志染

★神出

★西盛

★檀谷

東播磨 初秋の風物詩 田園地帯の里景色
 本当にうれしい風来坊
 初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。
 「また今回 初めて出逢えて印象深かったのは
 よく知らなかった加西市鶉野飛行場滑走路と戦争遺跡の見学でした
 太平洋戦争の戦争遺跡 滑走路跡と諸施設の戦争遺産
 そっくりそのままよく保護され残っていることにビックリしました

★白川峠
若草の丘

東播磨 初秋の風物詩



初秋 東播磨 酒米「山田錦」の里の風物詩
稔りの秋を約束する畔をかざる灘の酒蔵の旗
今年もうまい酒が楽しみ
2022.9.12. 三木市細川町垂穂の里で

東播磨 初秋の風物詩



灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」
酒米のダイヤモンド」というらしい
私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に
使われていると聞く
まもなく 芳醇な新酒が出回るのが楽しみ

東播磨酒米の郷秋の風物詩 加東市木梨の里景色



灘の酒蔵「剣菱」が里の人と一緒に守った
酒米「愛山」の栽培地
剣菱の旗がはためく加東市木梨の里
木梨 安住寺下で 2022.9.12.

東播磨 初秋の風物詩

闘竜灘の名の由来

一道の飛瀧地を劈きて開き 怒声豪勢風雷と闘ふ
秋は千巖に入りて霜葉麗し 玉龍躍り出でて錦雲堆む

岩をかんで激しく流れる滝は、まるで竜が闘うようである

——— 梁川星巖（江戸時代末期の詩人）

東播磨 初秋の風物詩 飛び鮎 激流 闘龍灘 2022.9.12.
ファイト!! 激しい流れに戦う元気を
ファイト!! 戦う君の唄を載せて

A scenic view of a river with a waterfall, a bridge, and buildings under a cloudy sky. The river flows over large, dark rocks, creating a white, frothy waterfall. In the background, a red bridge spans the river, and several buildings are visible on the left and right banks. The sky is blue with scattered white clouds.

東播磨 初秋の風物詩

夏の暑さをふっとばし 元気をもらった飛び鮎の清流
しぶきをあげて流れ下る加古川の流れ 闘竜灘
その水音が心地よし

③ 鶉野飛行場滑走路跡



当時のままの滑走路跡が残る、全国でも貴重な戦争遺産です。歩きやすく、散策道も整備されています。周辺には防空壕なども点在しています。



滑走路中央部より 北東側から南西に延びる滑走路跡 2022.9.12.

東播磨 初秋の風物詩



① 加西市地域活性化拠点施設「soraがさい」



鶯野飛行場に関連する展示（歴史や飛行機の実物大模型など）、物販・飲食、観光案内、イベントなど各種交流の機能を有しています。

「Soraがさい(加西市地域活性化拠点施設)」前より、南側へ鶯野飛行場滑走路跡



加西市
地域活性化
拠点施設

「Soraがさい(加西市地域活性化拠点施設)」



鶯野飛行場滑走路跡と
点在する戦争遺産

東播磨 初秋の風物詩

西の鴨池から東へ傾斜地に広がるきす野のそば畑

2022.9.12.

ちょっと時期がはやかったのですが
初秋小野市きすみ野の風物詩
野を真っ白に染める蕎麦の花に出会えました





東播磨 初秋の風物詩

咲き始めた来住野のそばの花 2022.9.12.
花言葉は「懐かしい思い出」
今年も出会えて うれしい秋の訪れ
God Be With You!!
from Kobe Mutsu Nakanishi

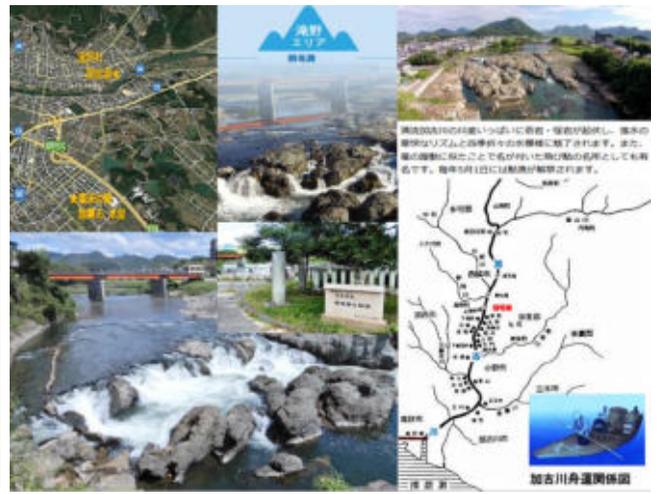
東播磨 初秋の風物詩



2022.9.12. 三木市福川町養種の里で
 霧の酒蔵の旗が群をかざる初秋の風物詩
 伊賀谷からまよふ谷女へな陸地の丘の麓を駆け、小さな丘がいくつも広がる山田錦の里「三木市養種」。加古川の西岸に広がる田園地帯は、兵庫県特産の酒米山田錦の主要栽培地。甘香あふぶき酒蔵が群って架かる山田錦の栽培地が広がり、暮秋の秋を迎えと神戸灘の酒蔵を始め、日本各地の酒蔵の旗が群を飾る山田錦の里がまよとつながる。今年の新酒の出来をう酒米の出来、順調な生育、旗を垂れる稲穂に期待が広がる山田錦の里の夏通り



霧の酒蔵「初霞」の酒米「愛山」
 酒米のダイナマンド、ないらしい
 私の知るは初霞の酒「初霞」に
 使われていると聞く、
 まもなく芳醇な新酒が出来るとの約束
 霧の酒蔵「初霞」が里の入り口に立つ
 酒米「愛山」の栽培地
 初霞の旗はためく加東市木梨の里
 木梨 敬佳です！ 2022.9.12.



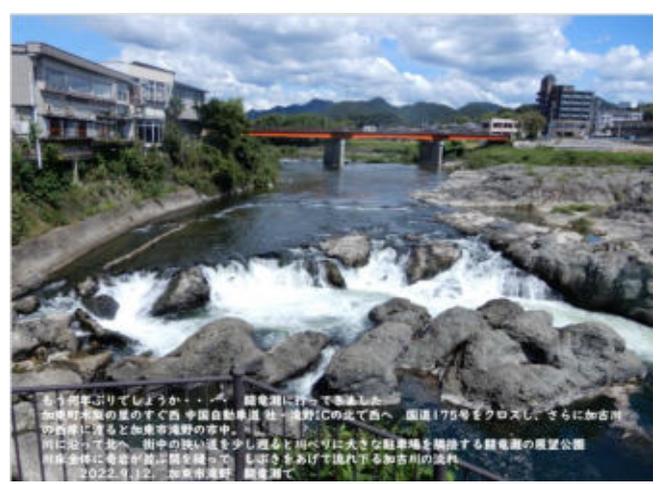
加古川川舟運開港園
 加古川川舟運開港園
 加古川川舟運開港園
 加古川川舟運開港園



3年ぶりにみる木梨の里の初秋の風物詩
 田園の群のあちこちに酒蔵の旗が翻る加東市木梨の里景色
 2022.9.12. 加東市木梨 安住寺下の田園で



2022.9.12. 三木市福川町養種で



3年ぶりに見ようか... 加東市木梨の里のすぐ西、中国自動車道 社一連野ICの北で西へ、国道177号をクロスし、さらに加古川の西岸に流る加東市福野の市中。川に沿って北へ、街中の狭い道を少し進ると川べりに大きな駐車場を擁する龍電園の風景公園。川岸全体に電柱が並び、川を隔て、もよみあがって流れ下る加古川の清流。2022.9.12. 加東市福野 龍電園で



加古川川舟運開港園の土手下の田野風景です。2022.9.12. 旗をまよとつながる米田の風景です。加古川の土手下の風景です。 一人一葉しーすばぬ
 小瀬下川の上流を望むに広がる、秋の風景の試み。2022.9.12.



Sora. だせい



加古川川舟運開港園
 加古川川舟運開港園
 加古川川舟運開港園
 加古川川舟運開港園

東播磨 初秋の風物詩 田園地帯の里景色 本本当にうれしい風来坊 初秋東神戸を爽快に駆け抜けた原チャリWalkになりました。



2022.9.14. 夕暮れ 高倉山より



2022.9.14. 夕暮れ 高倉山より



2022.9.14. 夕暮れ 高倉山より



2022.9.15. 神戸総合運動公園で